



2013年11月22日(金)～

12月5日(木)の活動

○ あいの風とやま鉄道利用促進協議会

11月22日(金) 富山市

富山第一ホテルにおいて、「平成25年度第2回あいの風とやま鉄道利用促進協議会」が開催され、石井富山県知事、高木富山県商工会議所連合会会長、富山県内各市町村長、角崎北経連事務局長など約40名が出席した。

冒頭の挨拶で石井知事は「開業まで、1年4か月となった。シャトルタイプ(つるぎ)が導入されるが、全国初のことであり、評価している。」と述べた。

事務局から、「開業後における関西・中京方面との利便性確保のため、富山～金沢間のシャトル便が1時間に1本程度運行される。JR線との乗り継ぎ割引制度を導入する。」などの報告、パークアンドライドの推進や、新駅の設定などの利用促進施策等の説明があった。

参加された委員からは、「新幹線のダイヤを早く示して欲しい。」「各県の並行在来線会社との連携をお願いしたい。」「ファンクラブのサービス事業は割引特典など魅力あるものにすべきだ。」など意見が出された。(担当:小林)

○ IRいしかわ鉄道利用促進協議会

11月26日(火) 金沢市

石川県地場産業振興センターにおいて、「平成25年度第1回IRいしかわ鉄道利用促進協議会」が開催され、谷本石川県知事、深山石川県商工会議所連合会会頭、石川県内各市町村長、水野北経連専務理事など約40名が出席した。

事務局より、協議会規約、IRいしかわ鉄道の経緯、現在の状況等について説明があった。

協議会では、利用促進を図るうえで「魅力的な企画切符・商品の展開」「駅及び駅周辺の活用」「地域住民、団体等による支援」「利用環境の整備による利便性の向上」の4テーマについて検討を進めることを決定した。

参加された委員からは、「富山県方面との乗り継ぎ利用者が多いので、富山の並行在来線会社との連携が必要。」「九州は既に開業しているので、活動状況が参考になると思う。」などの意見が出された。(担当:小林)

○ 先端技術推進委員会

11月27日(水) 金沢市

金沢都ホテルにおいて、「平成25年度第1回先端技術推進委員会」が開催され、水口委員長はじめ8名の委員が出席した。今年度事業の実施状況・評価および次年度事業の方向性について審議し、重点指向による事業の選択・集中、企業・大学・行政とのネットワーク強化による産学官連携活動の充実など、今後の事業について意見交換した。

委員会終了後、「北陸の新産業育成を考えるシンポジウム」を開催。産・学・官の有識者7名に参加いただき、基調講演とパネルディスカッションを行い、企業・団体から約80名が聴講した。

コーディネーターの金沢大学 山崎 光悦 副学長は「高機能新素材産業や健康関連産業など、北陸地域が強みを持つ分野に重点を置いた支援が必要。産学官が連携して、新事業創出に熱意を持つ経営者を支援することが重要。」と総括した。

(担当:岩田)

今後の主な活動予定

□ 12月17日(火)

常任理事会

<場所:金沢市>

□ 1月31日(金) ※

新春経済懇談会

<場所:金沢市>

□ 2月3日(月)

第3回 北陸フォーラム

<場所:ホテルニューオータニ>

□ 2月22日(土)～28(金)

湘南・北陸ウィーク

<場所:湘南>



□ 2月26日(水) ※

会員懇談会

<場所:福井市>

※詳細は、別途ご案内いたします。

※ 当連合会では、新規会員を募っております。
会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。
(Tel076-232-0472)